

ニセコ山系 ビーナスの丘・無名峰（1050m）

日 程 平成28年3月21日（祝・月）

参加者 CL藤木(晴)、渡邊、谷、後藤、笹山、太田、酒井

6：30伊達出発 真狩へ向かう道路、夜に降雪（5cm）これくらいでは除雪車も走らず、雪もチラチラと降り 羊蹄山の姿も見えず、冬道モードの走行。

7：40ニセコ道の駅で後藤さんと合流 8：00チセP場到着。曇り空で 風も無く 穏やかな天気、渡邊予報士によると 少々の降雪、上の方では7mの風、午後から晴れる（予想どおりでした）準備を整えて 8：25出発 昨夜の降雪10cm、新雪の下は ツボ足でも歩ける。スキー滑走にはヨシと話もはずむ。9：15リフト終点を遠くに見ながら予定のコースを進む。平地に出たところで チセが右横にあるが粉雪と風で視界が悪い。ルート旗6本、テープ2ケを使用。9：40夏道出合の看板近くで チセ、ビーナス、シャクナゲの姿が時々見えるようになる。



吹雪の無名峰山頂

シャクナゲ岳の真白い頂に歓声。交代するほどのラッセルも無く 休憩2回と順調。ビーナスの登りを見ると 雪が風で飛ばされ、ところどころ光って見える。アイゼン装着。10：45ビーナスの丘到着。視界は良くなったが 風があり記念写真のカメラマンご苦労様でした。無名峰 近いようで、山容が広いので遠くにも見える。リーダー考えてます。ここから引き返す



ビーナス丘を滑る

か、 ツボで行くか。決断。スキーで登る。10：55出発 北斜面に廻り込んで登ると風が当たらないのか雪が付いている。ビーナスから15分で。広い山頂だが 風の当たらない斜面でシールを外す。滑走コースを計画の長沼へ下らず、ビーナスを左廻りで 11：20滑走開始 1名 何やら 叫んでいる。アイスバーンで スキーが流れたか 尻もち。2度の集合でビーナスの丘下まで15分下りる。下から見ていると雪質に慣れたのか ターンもそこそこに滑ってくる。コルでテント設営。



すごく良く晴れたランチタイム

人数が少ないので 手抜きか センターがずれて 片側に寄って昼食。12:35 出発 シールを付けることも無くゲレンデ横に出る。樹林帯を滑り 向いの尾根に取り付く。尾根を歩き 自衛隊ゲレンデ



左から Tさん・Fさん・Sさん・Gさん

の頭に到着。酒井、渡邊、太田の3名 急斜面の林を登山口へ降りる。下から眺めて リーダーの意図を理解。それぞれのシュプールを描いて終わる。「左側が私だよ」ん・・・ミミズがはったようなのかな？ 13:20 P場到着。楽しみにしていた雪秩父で入浴。早い時間に（16:00頃）伊達到着。

記録 酒井